

京丹後市観光公社 会員向けヒアリング調査 1月分(2021.1.14現在 n= 37)

◆調査期間: 1月8日から1月11日まで

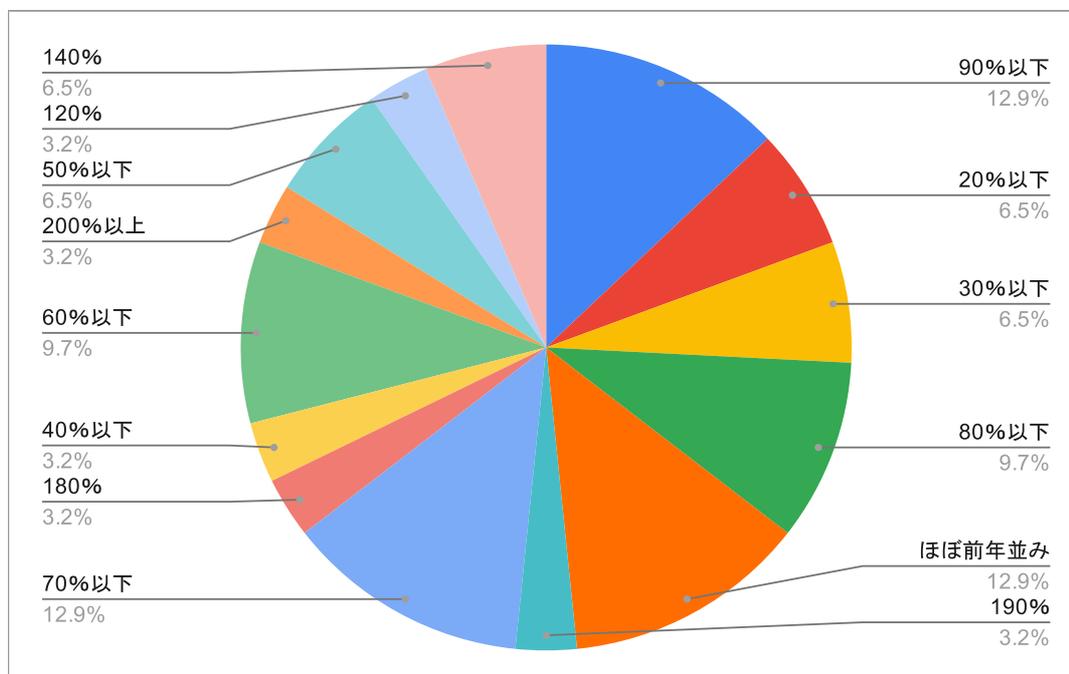
◆回答方法: WEBまたはFAX

1 12月～4月の状況

①キャンセル件数	21,249 件
②キャンセル人数	69,903 人
③キャンセル総額	1,710,798,932 円

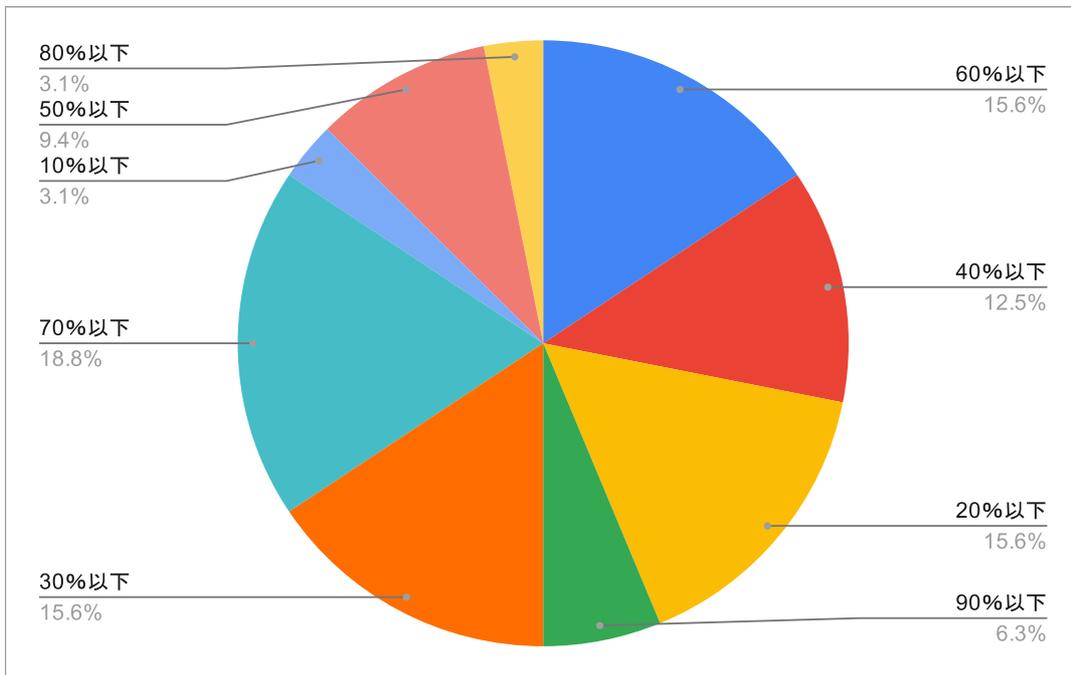
1-1 12月

①キャンセル件数	8,224 件
②キャンセル人数	24,399 人
③キャンセル総額	597,702,241 円
④売上の昨年同月比	

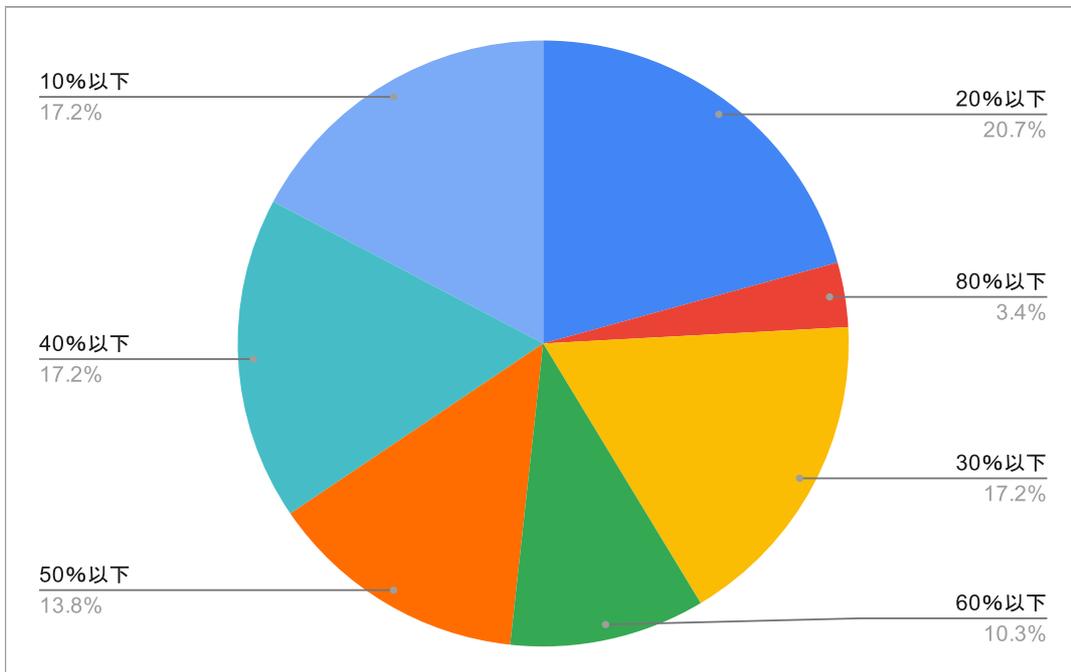


1-2 1月

- ①キャンセル件数 10,700 件
- ②キャンセル人数 34,193 人
- ③キャンセル総額 899,209,996 円
- ④売上の昨年同月比

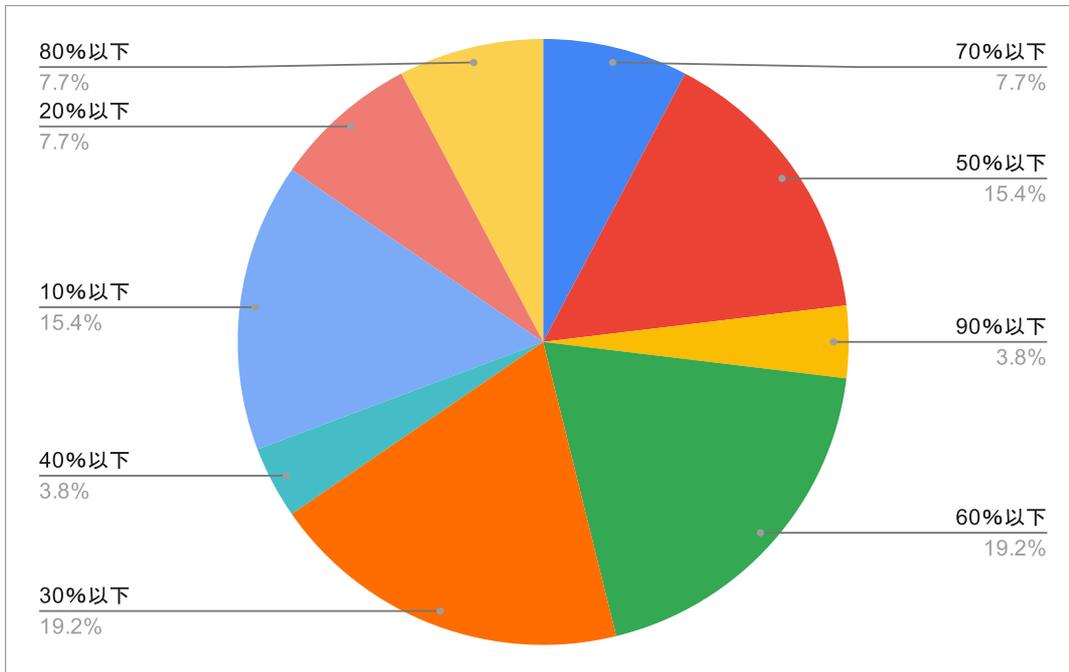


⑤客室稼働状況

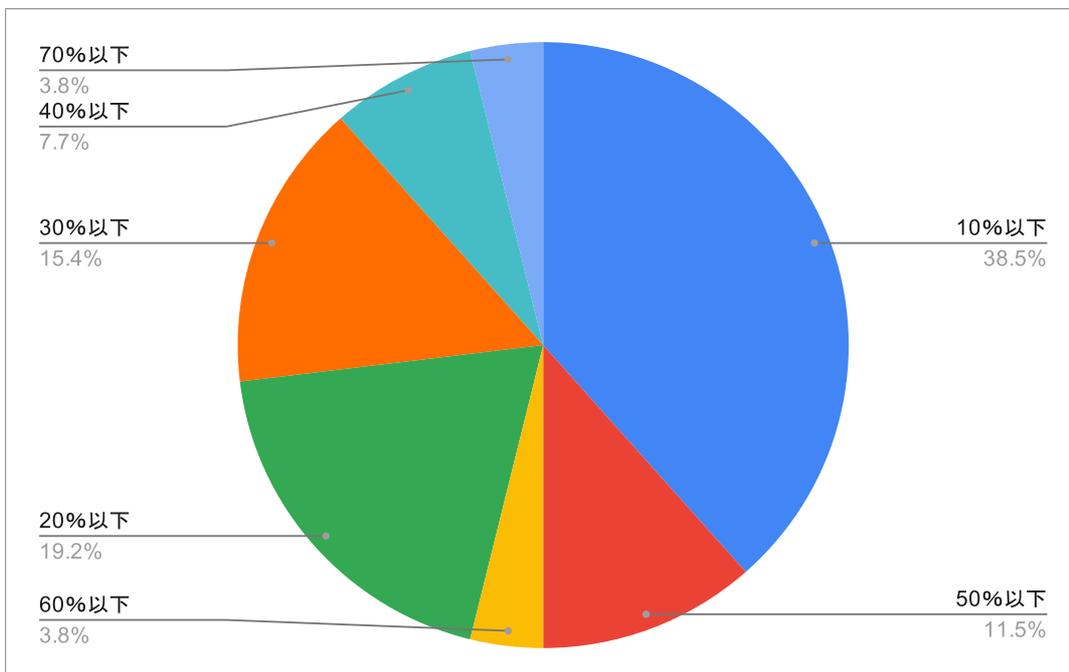


1-3 2月

- ①キャンセル件数 1,916 件
- ②キャンセル人数 10,109 人
- ③キャンセル総額 186,913,246 円
- ④売上の昨年同月比

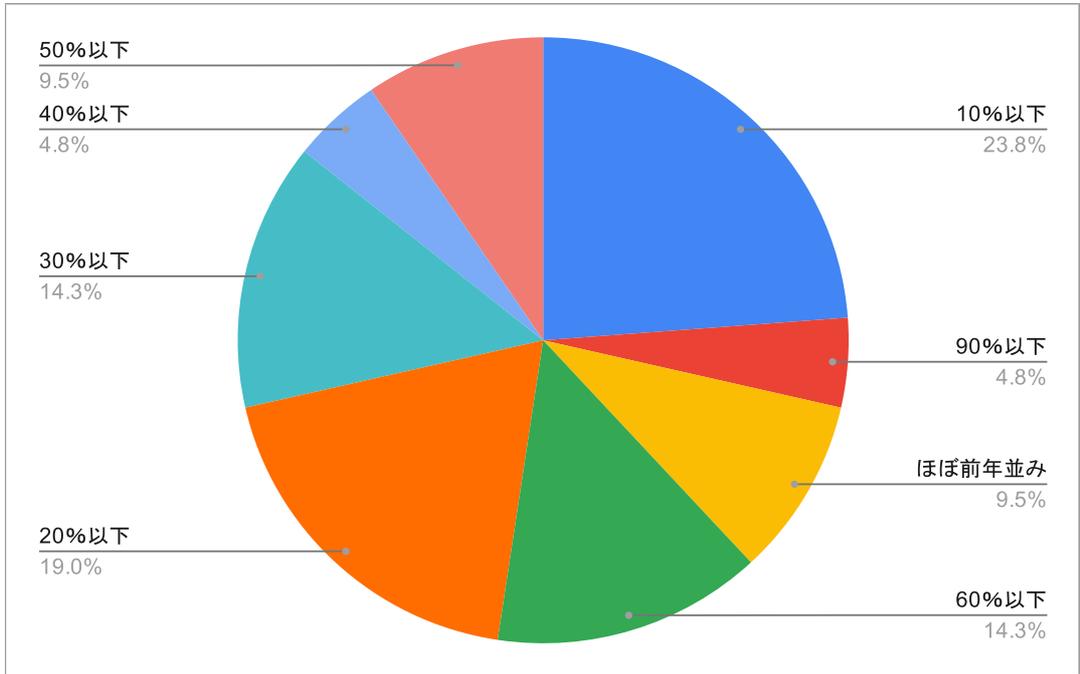


⑤客室稼働状況

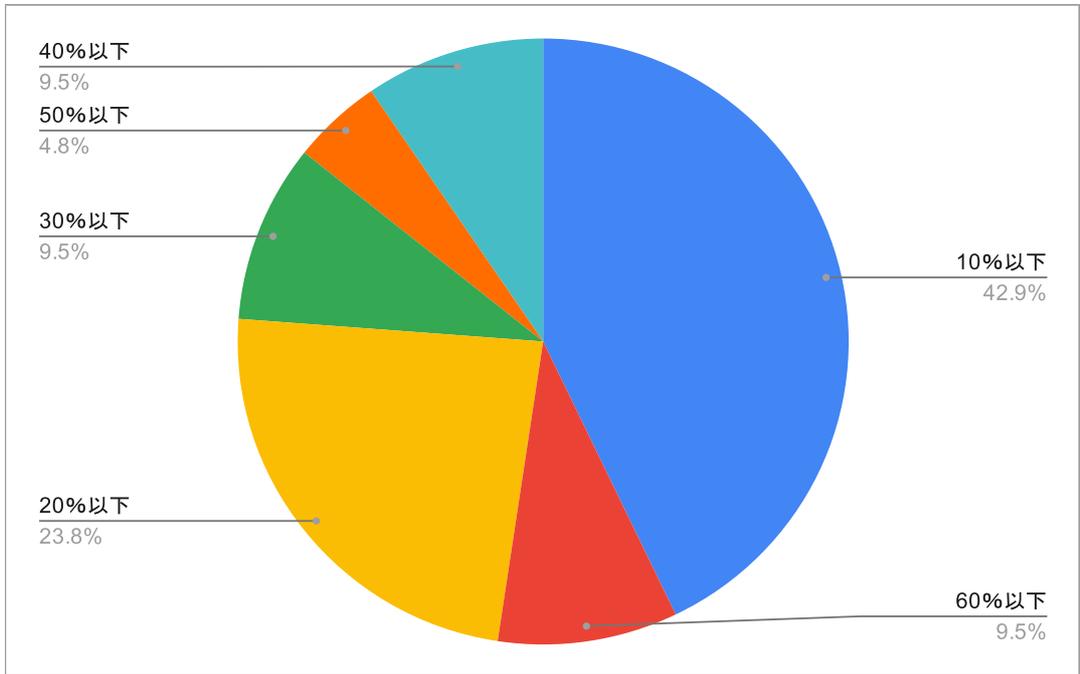


1-4 3月

- ①キャンセル件数 392 件
- ②キャンセル人数 1,172 人
- ③キャンセル総額 26570432 円
- ④売上の昨年同月比

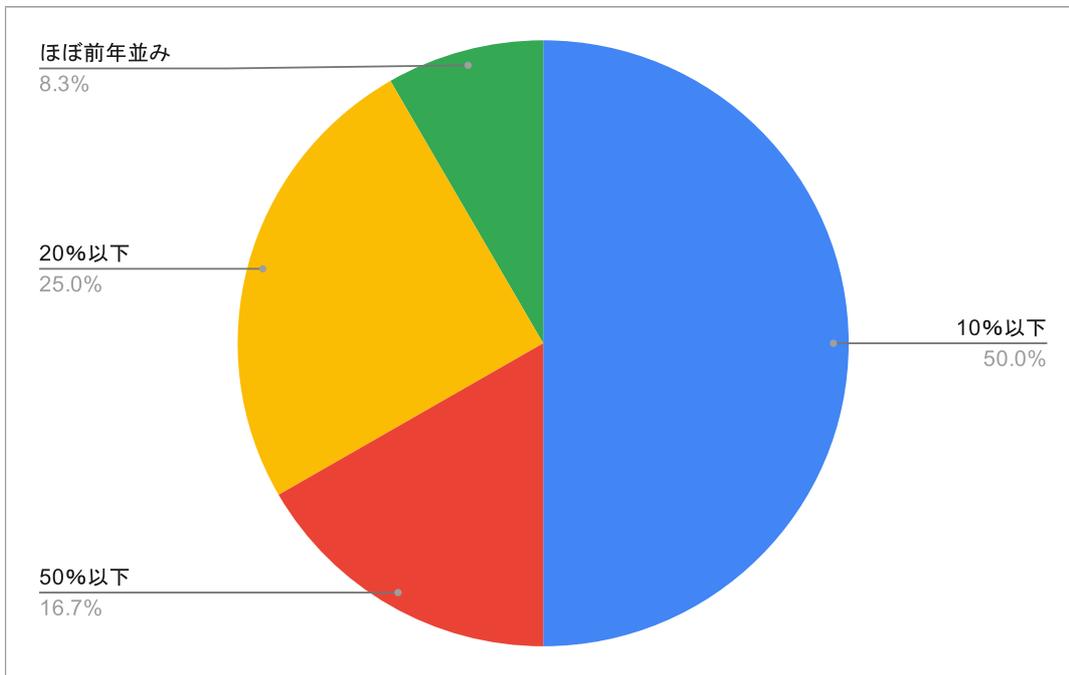


⑤客室稼働状況

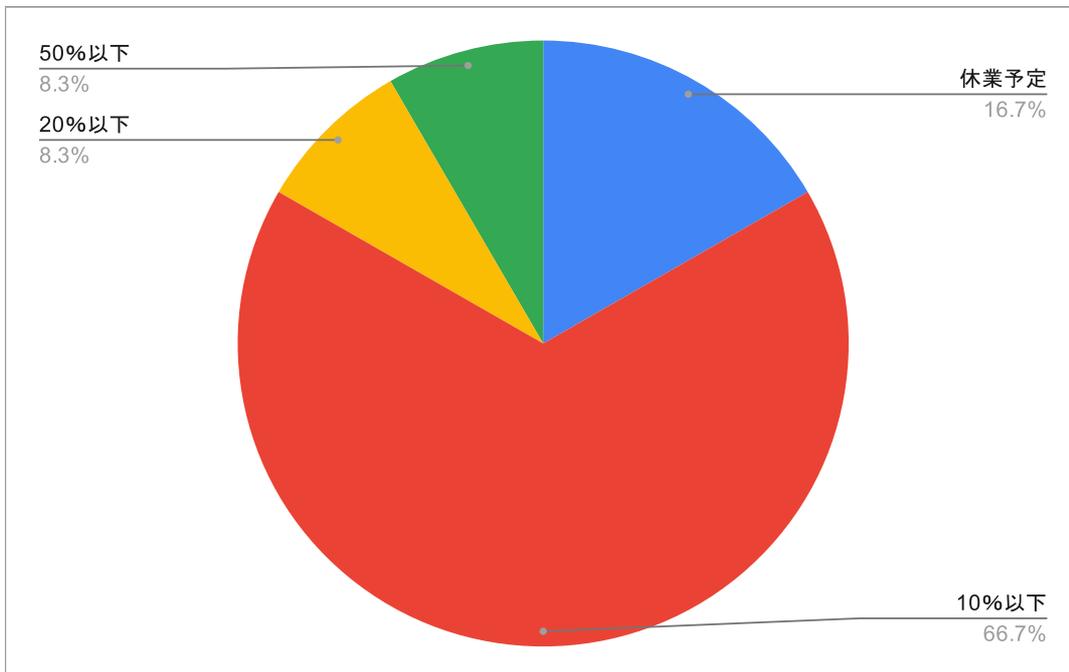


1-5 4月

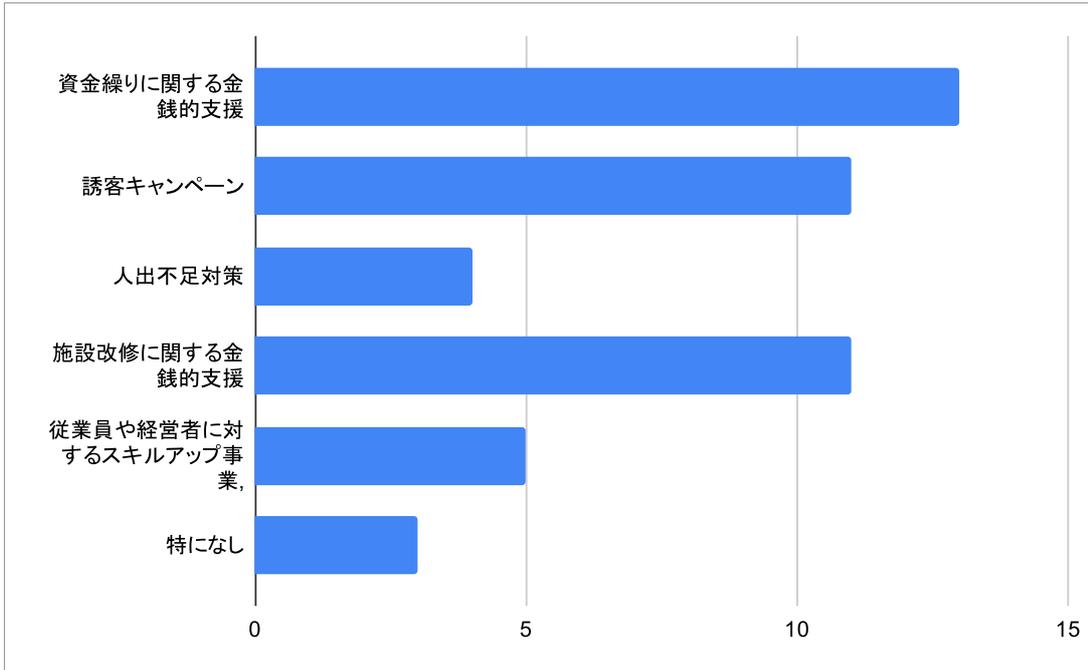
- ①キャンセル件数 17 件
- ②キャンセル人数 30 人
- ③キャンセル総額 403017 円
- ④売上の昨年同月比



⑤客室稼働状況



2 現時点で、“特に必要な”支援や施策(複数回答可)



その他 感染症対策への補助
 全部必要だけれど今はどれも効力がないと思える
 GoToの影響は少ない。

3 自由記入欄(Go To事業停止等の影響や特に観光公社に望むこと等)

旅館業全般借入金で成り立っています。銀行に以前行ったような、債権放棄の様な一部借入金返済免除。金融機関は貸します貸しますと言っていますが、借入金が増えるだけ。このまま続けば観光業・関連業者・地域共倒れ。

特になし

Go To事業停止の影響により宿泊のお客様がなくなり、大変困ってます。

手のうちようがない

今後の課題として、GoToキャンペーン終了後、どのように売上をとるのか。お客様に京丹後に来ていただくにはどのようにしていくのかが課題として挙がっております。値引き(割引)での誘致ではなく、京丹後の魅力をアピールできるツールを探しています。※アンケートの3月、4月は予約数も少ないですし、すでに昨年は前回の緊急事態宣言の影響を受けていますので参考にならないと思います。

2~4月に関してはそもそも予約がほとんど入っていません。また、昨年4月は休業していたため前年比と言われましても...。DMO関係にはなりますが、冬旅の使用期限の延長も視野に入れてもらいたいとは思っています。冬旅の払い戻しはできないのなら、緊急事態宣言も出る手前、冬旅の使用期間の延期は必須なような気はします。

予約が入らない。入った予約がどんどん消える。来て貰うのも正直怖い(こんな時期に来られる方は気にしていない) どうしていいの?? ポジティブに考えられない

停止が確定してからのキャンセルが予想以上に多く、ワンランク上の宿泊を予約したから通常だと予算がないのでとの声多かった。空白の日でも出しているの今後従業員の確保も心配。支援策も望む。例年になく2月3月の予約状況が悪いのが気になる現状です...当館は。

1月の売り上げ分を2月3月で取り戻したいため、GoToキャンペーンを復活してほしい。

4月以降の誘客キャンペーン希望。キャンセル料補助金の請求など、たくさんの情報量なので、整理して示していただけたらとても会員さんにとってはありがたいと思います。

GoTo終了後も独自施策を行ってほしい。

元々GOTOがなくても満室になる時期、GOTOありきのこの世の中の風潮とコロナ不安による自粛(今は仕方がないけれど)が早く解けてほしい